

合同な形が住民の消火活動を身近に！



首都直下地震がかなりの確率で起こることが予測されていますが、火災などの災害が起きても、火災現場に消防隊がすぐに到着できるとは限りません。

そのときは、地域住民が協力して消火にあたる必要があります。特に、木造住宅が密集している地域や、道が入り組んだ狭い地域は、消防自動車駆けつけにく

いところでは、そのような地域には、「スタンドパイプ」という簡易な消火資器材を

備えることを勧めています。これは、消火栓の口径（直径 65 mm）やホースの

口径（直径 40 mm）と合同な円の形になっているので、地域住民の方でも消火栓

の口にスタンドパイプとホースを簡単にセットして、すばや初期消火ができ

ます。これらは、水道水の圧力で放水できるようにもなっています。



合同な形をしている。

相当の威力で放水ができる。